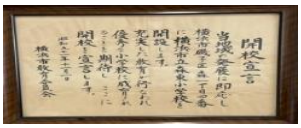
ハッピーバースディ森東小学校

校　長　　菊池　幸博

　１０月２８日(土)のスポーツフェスティバルには多くの保護者の皆様、学校運営協議会の皆様に来校いただきました。温かい拍手やご声援を頂戴したおかげで、秋空の下で半日の開催ではありましたが、子どもたちは演技に競技に応援にと、これまでの練習の成果を生かしながら取り組めました。心から感謝申し上げます。

　また、市川会長をはじめPTA役員の皆様には様々な面でスポーツフェスティバルの運営が円滑に進むようご支援いただきましたこと、併せて感謝申し上げます。

　１１月１日は、森東小学校の創立記念日です。



１日(水)の朝にはバースディ集会を開き、子どもたちと一緒にお祝いします。昭和５１年に開校した本校は、今年で４７年目となります。開校の昭和５１年はモントリオールオリンピックが開かれ、女子体操ではルーマニアのコマネチ選手が大活躍しました。また、ロッキード事件が大きな社会問題にもなりました。さらに「およげ！たいやきくん」が大ヒットした年でもあります。こうして振り返ってみると、磯子区内では比較的新しい学校ではありますが、様々な歴史を重ねてきたことがうかがえます。保護者の皆様の中にも本校ご出身の方もいらして、親子２代の“森っ子”もめずらしくありません。創立５０周年に向けてそろそろカウントダウンというところです。

　さて、秋も深まりすっかり冬支度の季節に入ってまいりましたが、登校の様子で気になることがあります。それは子どもたちの「手」です。冷たい外気に触れたくないということからポケットに手を入れたまま歩く姿をよく見かけます。子どもたちの転倒事故で、顔面を強打するケースは決して少なくありません。またこの顔面強打によって前歯を欠損するケースも同じく少なくはありません。特に低学年を中心に言えることではありますが、高学年の子どもたちにもあてはまることです。教室では学級指導としてポケットから手を出して歩くように指導しています。また、朝の門での見守り活動の際にも声をかけるようにしています。転倒による事故に加え、ポケットに手を入れたままの姿勢は成長期の子どもたちにとって悪影響を与えかねません。どうぞご家庭におかれましてもご指導いただき、あまり寒いようでしたら手袋等のご準備をお願いいたします。